

第80回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



公益社団法人 日本獣医師会第80回通常総会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、全国の地方獣医師会の代表者の皆様方には、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

冒頭であります。先月20日、自由民主党の獣医師問題議員連盟の副会長である、北村誠吾衆議院議員がご逝去されました。長年、同議員連盟の事務局長として、日本獣医師会、日本獣医師連盟に対して、大変ご親身にご指導をいただきました。この場をお借りして、改めて心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、新型コロナウイルスについて、5月8日をもって本病は感染症法において季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、すでにマスク着用は個人の判断に委ねられていることから、本日の総会も従来の対面開催とさせていただきます。

本日は公務ご多用にもかかわらず、多くのご来賓にご臨席をいただきました。

国会からは、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長、外務大臣 林 芳正先生、自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行 衆議院議員 森 英介先生、衆議院自由民主政策審議会会長 松山政司先生、自由民主党獣医師問題議員連盟会長 麻生太郎先生秘書 野田友視様、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会会長 衆議院議員 古屋範子先生。

関係省庁からは、農林水産省諸費安全局長 森 健様、環境省自然環境局長 奥田直久様、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官 佐々木昌弘様、文部科学省大臣官房審議官 西條正明様。

そして、関係団体から、公益社団法人 中央畜産会 副会長 姫田 尚様。

また、この他にも多くの国会議員の先生方、関係省庁、団体の方々にご出席を賜ることができました。日頃の私ども日本獣医師会に対するご厚情に重ねて厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、私は5期目の会長任期を終了いたしますが、この間、本会の役員並びに地方獣医師会、そして構成獣医師の皆様方には多大なご支援をいただきながら、さまざまな課題に取り組むことができました。

その中でも、ワンヘルスについては大きく前進することができたと思っております。

昨年11月に私はアジア獣医師会連合（FAVA）の会長に就任し、福岡県において「アジアにおけるワンヘルスアプローチ」をテーマに第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会を、ここにお見えの皆様をはじめ19カ国から約2,500名の参加者を得て対面開催いたしました。本大会の成果として採択された「アジア

ワンヘルス福岡宣言 2022」を世界に向けて発信することとしております。

また、3月13日には、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟設立総会を開催していただきました。総会では会長である林 芳正外務大臣をはじめ、ご出席の議員の先生方からワンヘルスの推進に賛同いただく前向きなご意見を多数いただき、今後における議員連盟の力強いご指導に大いなる期待を抱いたところです。

一方、このたびのG7広島サミットに先立ち、5月13日から2日間、長崎市で開催された「G7長崎保健大臣会合」においては、その成果として公表された、「G7長崎保健大臣宣言」の中で「ワンヘルス」が大きく取り上げられました。そして、先日公表された政府の「骨太方針」にもワンヘルスが明記されたところであり、国会議員の先生方のご尽力に感謝申し上げます。

このようにワンヘルスの取組は、世界的にもその重要性が認識され、一層の活動推進が期待されており、8月1日に開設予定の「FAVA ワンヘルス福岡オフィス」をワンヘルス実践活動の拠点として、ワンヘルスの普及をはじめ、多岐にわたる課題に先進的に取り組んでまいりたいと考えています。

また、現在の最重要課題である販売用犬・猫へのマイクロチップの装着・登録に係る対応につきましては、昨年7月以降、環境省、厚生労働省と10回にわたる円卓会議を開催し、早期の解決に向け協議してまいりました。飼い主はもとより、地方獣医師会、会員構成獣医師の皆様にとっても有用かつ利便性の高い制度とするためには、現行の「環境大臣の登録」から「AIPO など民間の指定登録機関の登録」に変更するなど抜本的な改善が必要であり、動物愛護管理法の早期改正に向け取組を推進しているところです。

さらに、愛玩動物看護師については、3月17日に第1回国家試験の合格発表がなされましたが、20,798人の受験者のうち18,481人が合格し、88.9%という高い合格率となりました。その一方で、3月14日に合格発表がなされた獣医師国家試験は、受験者1,254人に対し、合格者は877人で、合格率は69.9%という、過去5年と比較してもっとも低く、残念な結果となりました。いずれにしても、今後は獣医師と愛玩動物看護師が適切な役割分担と連携の下で、人と動物の共生社会の構築と、国民生活の向上に貢献できるよう、チーム獣医療の推進に取り組みたいと思います。

その他、豚熱等の家畜伝染病防疫対策、公務員獣医師及び産業動物獣医師の処遇改善と確保等の国内対策や、アジア地域の獣医師の研修事業等を通じての国際貢献等、本会が取り組むべき課題は山積しています。

これらの諸課題につきましては、本会と地方獣医師会が一体となって解決に尽力していく必要がありますが、特に全国獣医師会会長会議の高橋常設議長及び玉井常設副議長には格別のご尽力を賜り、執行部としても改めて感謝申し上げます。今後とも、地方獣医師会、会員構成獣医師の皆様方のご理解とご協力につき、何卒よろしく願いいたします。

本総会においては、昨年度の事業報告及び決算、さらに本年度の予算及び事業計画、さらに今後2年間の役員の選任等重要な議案を上程しております。ご出席の皆様方には、忌憚のないご意見をいただき、今後の日本獣医師会の活動を一層活発で意義あるものとしていきたいと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。